

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	eビジネス経営論（e-Business Management）		
ナンバリングコード	E30206	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E038901	クラス名	-
担当教員名	中山 直樹		
履修上の注意、 履修条件	指定席制 遅刻・欠席をしないように心がけてください。		
教科書	井上善海、佐久間信夫 共著「よくわかる経営戦略論」(ミネルヴァ書房)		
参考文献及び指定図書	大滝精一、金井一頼、山田英夫、岩田智共著「経営戦略」(有斐閣)		
関連科目	情報システム基礎、情報システム論、経営情報論、会計情報処理論、情報会計論、社会情報論、経営情報システム事例研究、コンピュータ特論、システム分析論、統計理論		

○基本情報		
授業の目的	この科目の目的は、全てのビジネスに共通する様々な経営戦略手法について具体例を交えながら考察することを通して、eビジネスならではの特徴的な戦略について理解を深めることにあります。高度経済成長の終焉に伴い日本企業が大きな転換点を向かえている今日、企業間競争における生き残りにおいて最も大きなポイントとなるのが経営戦略です。具体的には、ドメイン決定、PPM（ポートフォリオマネジメント）、多角化戦略、グローバリゼーション、プロダクトライフサイクル、競争メカニズム分析、M&A、アライアンス、デジタルトランスフォーメーション、OnetoOneマーケティングなどを習得していきます。	
授業の概要	社会情勢の多様化や情報技術の進展に伴って、企業経営は複雑になり、経営戦略は、ますます重要になっています。この授業では、情報社会における経営戦略とは何かということを基本的に理解し、ドメインの定義や決定方法をはじめとして、資源展開の戦略、競争戦略、組織間関係の戦略、経営戦略の策定、経営戦略・イノベーションなどについて学習します。このように、経営戦略の革新、新規事業創造の戦略、経営戦略と組織の在り方や経営戦略の新しい潮流などを含めて、経営戦略の基本を学習します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	情報を活用した戦略的企業経営への関心を強く持つこと		10点	
【知識・理解】	経営情報学の基礎的知識と応用的な経営戦略に関する知識を修得すること	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	戦略策定の方策を自らの生活や実社会に置き換えて適応できること	10点		
【思考・判断・創造】	情報を活用した新たなビジネス戦略を創造的に企画できること	20点	20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義を通じて獲得した知識を活用して、自分なりに適応した思考や企画を持てるかを見て評価する。講義レポート等の学習成果・課題は次回以降の授業中に講評・解説を行い、期末試験はユニバーサルパスポートのクラスプロフィールに講評・解説を掲載することでフィードバックする。

○その他
担当教員への緊急の連絡は、第1回目講義で示す連絡先におこなう。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	eビジネス経営論（e-Business Management） 中山 直樹	授業コード	E038901
学修内容					
1. eビジネスと経営戦略 インターネットが普及し、デジタル化が進んだ現代社会において、企業における重要な経営戦略とは何かを学びます。学習項目としては、経営戦略の歴史や概念、情報技術を駆使した経営戦略の意義や要件などを取り上げます。					
予習	指定教科書の2～13ページを精読し、「経営戦略とは何か」を各自で自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の2～13ページを精読し、「経営戦略の概念と体系」に関連する事項を自主的に調べて纏める。				約2時間
2. デジタル化がもたらす企業と社会の変革 DX(デジタル変革)とは何かを学習します。先進的情報技術を用いて、既存のやり方を大きく変えた企業や社会の仕組みの具体例を通じて、高度情報化社会におけるDXの意義や重要性を考察します。					
予習	指定教科書の2～13ページの内容を参考にし、デジタルトランスフォーメーションを自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の2～13ページの内容を参考にし、デジタルトランスフォーメーションに関する事項を纏める。				約2時間
3. 事業領域の定義 事業領域の定義について学習します。学習項目としては、企業ドメインとは、ドメイン定義の意義と考え方、ドメイン定義の次元、企業ドメインと事業ドメイン、企業の成長とドメインの変化などを取り上げます。					
予習	指定教科書の42～51ページを精読し、ドメイン(事業領域)の意味と意義を自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の42～51ページを精読し、「ドメインの意義と競争優位の確立」に関する事項を調べて纏る。				約2時間
4. 戦略の策定 戦略の策定について学習します。学習項目としては、企業戦略の策定、事業戦略の策定、外部環境の分析、経営資源の分析、経営資源と戦略などを取り上げます。					
予習	指定教科書の24～29ページを精読し、「戦略の策定」に関するついで自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の24～29ページを精読し、「市場戦略の策定と経営資源分析」に関する事項を纏める。				約2時間
5. 競争の戦略 競争の戦略について学習します。学習項目としては、セグメンテーション、競争の基本戦略、競争と強調の戦略、攻撃戦略、タイムベース競争などを取り上げます。					
予習	指定教科書の38～41ページを精読し、競争戦略に関する事項を自主的に調べてる。				約2時間
復習	指定教科書の38～41ページを精読し、「競争戦略と競争優位」に関する事項を調べて纏める。				約2時間
6. 新規事業創造の戦略 新規事業創造の戦略について学習します。学習項目としては、新規事業創造の戦略の意義、大企業における新規事業創造の条件、新規事業創造におけるミドルの役割などを取り上げます。					
予習	指定教科書の14～23ページを精読し、新規事業創造に関する事項を自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の14～23ページを精読し、「新規事業創造と多角化」に関する事項を調べて纏める。				約2時間
7. 企業の製品戦略 企業の製品戦略について学習します。学習項目としては、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)、プロダクトライフサイクル(PLC)、経営資源の最適配分、成長のための戦略投資理論などを取り上げます。					
予習	指定教科書の30～37ページを精読し、企業の製品戦略に関する事項を自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の30～37ページを精読し、「製品市場戦略と資源展開」に関する事項を調べて纏める。				約2時間
8. ネットワーク戦略／理解度確認テスト ネットワーク戦略について学習します。学習項目としては、ネットワーク型アライアンス、ネットワーク組織、シナジー戦略、先進企業のバーチャル組織などを取り上げます。また、講義の後半では理解度確認のための小テストを実施します。					
予習	指定教科書の82～95ページを精読し、ネットワーク戦略に関する事項を自主的に調べる。				約2時間
復習	指定教科書の82～95ページを精読し、「ネットワーク戦略と知識創造」に関する事項を調べて纏める。				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	eビジネス経営論（e-Business Management） 中山 直樹	授業コード	E038901
学修内容				
9. グローバル戦略 グローバル戦略について学習します。学習項目としては、グローバル戦略の問題、グローバル戦略と経営環境、グローバル戦略と経営資源、グローバル戦略と経営組織、グローバル戦略の変化などを取り上げます。				
予習	指定教科書の124～135ページを精読し、グローバル戦略に関する事項を自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の124～135ページを精読し、「グローバル化と経営戦略」に関する事項を纏める。			約2時間
10. 成長の戦略 成長の戦略について学習します。学習項目としては、成長のための協同政策であるアライアンス、成長の最大戦略であるM&A、経営資源の戦略的活用、リスク・マネジメントなどを取り上げます。				
予習	指定教科書の96～107ページを精読し、成長の戦略に関する事項を自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の96～107ページを精読し、「アライアンス戦略とM&A」に関する事項を調べて纏める。			約2時間
11. 戦略実現のための組織 経営戦略を実現するための「組織」について学習します。学習項目としては、人と組織のマネジメント、組織構造、組織と情報システム、インセンティブ・システムと人事制度、組織文化などを取り上げます。				
予習	指定教科書の68～95ページを精読し、経営戦略と組織に関する事項を自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の68～95ページを精読し、「経営戦略とそれを実現する組織」に関する事項を調べて纏める。			約2時間
12. 企業経営と社会貢献 企業経営と社会貢献について学習します。学習項目としては、企業と社会、企業のガバナンス、企業の社会的責任、SDGs（持続可能な開発目標）、企業戦略と国際社会、社会的企業の存在意義とその貢献などを取り上げます。				
予習	指定教科書の136～149ページを精読し、企業経営と社会貢献に関する事項を自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の136～149ページを精読し、「企業経営がもたらす社会貢献」に関する事項を調べて纏める。			約2時間
13. 経営の変革（イノベーション） 経営の変革（イノベーション）について学習します。学習項目としては、企業イノベーション、イノベーションマネジメント、企業革新のモデル、成熟企業における企業革新などを取り上げます。				
予習	指定教科書の164～177ページを精読し、イノベーションと経営戦略に関する事項を自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の164～177ページを精読し、「イノベーションと経営戦略」に関する事項を調べて纏める。			約2時間
14. 起業家（スタートアップ）の戦略 起業家の戦略について学習します。学習項目としては、起業家の役割、起業家精神、起業のプロセス、インターネット社会における起業とは、起業家によるeビジネス経営、起業家への公的支援などを取り上げます。				
予習	指定教科書の150～163ページを精読し、起業家の戦略に関する事項を自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の150～163ページを精読し、「起業家の戦略」に関する事項を調べて纏める。			約2時間
15. 新時代の情報戦略とeビジネス ITとインターネットの高度技術を駆使した新時代の情報戦略と先進的eビジネスについて学習します。学習項目としては、SEO・SEMや米国企業の先進手法などを取り上げ、事例と視聴覚教材などを通じて学習します。				
予習	指定教科書の110～123ページの内容を参考にし、新時代の情報関連ビジネスを自主的に調べる。			約2時間
復習	指定教科書の110～123ページの内容を参考にし、新時代の情報関連ビジネスの詳細を調べて纏める。			約2時間
16. 期末試験 期末試験 試験時間は80分で、教科書の持込を可とします。				
予習	15回の講義内容を全て詳細に振り返り、全項目に関して再考する。			
復習	回答できなかった問題の正解を調べ、再度熟考する。			